

琵琶湖や川について 一緒に考えてみませんか!?

淀川水系河川整備計画に向けて

LAKE BIWA & RIVER

環境

- これまでの河川整備が河川環境に及ぼしてきた影響を真摯に受け止め、「生態系が健全であってこそ、人は持続的に生存し、活動できる。」との考えを踏まえて、河川環境の保全・再生を図ります。

治水・防災

- 洪水被害の軽減のみならず、その深刻さを軽減する施策をハード、ソフト両面にわたって推進しますが、狭窄部下流の治水安全度を損なわないで上流の安全度の向上を図ります。

河川整備の 基本的な考え方

利水

- 水需要予測の見直しを踏まえ、既存水資源開発施設の運用や新規施設の計画の内容を見直しします。また、水需要の抑制が図られるよう利水者や関係自治体と連携します。

利用

- 河川の利用については、利用者の理解を得ながら「河川環境の保全を基本とした利用の定準」と「河川環境を損なう利用の禁止」を図ります。

「淀川水系河川整備計画策定に向けての説明資料（第2稿）」
の琵琶湖流域ダイジェスト版

近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所

淀川水系河川整備計画に向けての主な内容



住民参加

- ◇情報の公開と共有化を進めます。
- ◇河川整備を進める上では、計画の検討段階から住民が参加し、意見を述べ、行動できる仕組みを作っていきます。

琵琶湖流域

●環境面では

- 現在の水質汚染防止協議会を更に発展させ、自治体、関係機関、住民および住民団体と連携強化して、河川の流入総負荷管理を図る琵琶湖・淀川流域水質管理協議会（仮称）の設立を検討します。
- 良好な水質の維持・生育環境を保全・再生するために、関係機関や住民および住民団体等と連携しながら外来種対策を推進し、啓発活動も実施します。

●治水面では

- 破壊による被害の回避・軽減を図ります。（日頃から備える、洪水時の対応、流域で水を貯める）



琵琶湖の水位管理



●環境面では

- 治水・利水への影響を考慮した上で試験操作を実施しながら、琵琶湖における生物の生態・生育環境を保全・再生するための水位操作を検討します。
- 琵琶湖における魚類の水位低下と関係水位の長期化を抑制する方策を検討します。

●治水面では

- 琵琶湖沿岸の浸水被害を軽減するため、瀬田川下流部の低下能力（放流能力）の向上を図ります。

大津放水路

●治水対策では

- 浸水被害の軽減を目的として、大津放水路（トンネル放水路）の一期区間（瀬田川～越前川まで）のうち、盛越川分水工、瀬田川合流部処理を継続実施します。



天ヶ瀬ダム・瀬田川洗堰



●環境に対して

- 河川の平流化等に伴う河川環境に対する影響を改善するために、水位変動や攪乱の増大を図る試験操作を実施し、適切な運用に向けて検討します。
- 洪水のあと下流で、逃げ遅れによる魚類の犠牲を招かないよう、急激な水位低下が生じない運用操作を実施します。
- 魚類等の逃上・降下に配慮した方策を実施の可否も含め検討します。
- 土砂移動の連続性を確保するための方策を検討します。

●天ヶ瀬ダム再開発については

- 放流能力増大対策として既存施設を活用した放流方法、放流方法の変更に伴う環境への影響等について調査・検討を行います。

維持管理

- 堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理を行うことにより、洪水等による災害の防止や復旧を図ります。
- 許可工事については、河川管理施設に準じた点検整備および対策を行うよう施設管理者に指導します。
- 河川区域の管理に努めます。（樹木の伐採と管理、河床内堆積土砂等の管理、安全利用のための対策、河床内ゴミの処理および不法投棄の防止対策）

丹生ダム



●丹生ダム計画は

- 琵琶湖の水位低下抑制のための丹生ダムからの増給効果、自然環境に及ぼす影響、土砂移動の連続性を確保する方策等について調査・検討を行います。

瀬田川・草津川・野洲川

●環境面では

- 「[川が川をつくる]を手伝う」という考え方を念頭に、横断方向および縦断方向の連続性の確保を目指し、湖と湖の間等さまざまな形状を持つ河川の復元を図ります。
- 横断方向においては、堤防の縦断傾斜化や高水敷の切り下げや水陸移行帯等、良好な水辺の保全・再生を図るとともに、水際の改善を行います。
- 縦断方向においては、生物の産上りや降りやすいことができるよう、既設の河川横断工事物の改良を検討します。
- 河川環境上必要な水量を確保するとともに、確保可能な水量を把握するために必要な経路調査を実施します。

●治水面では

- 破壊による被害の回避・軽減を図ります。（日頃から備える、洪水時の対応、流域で水を貯める）
- 堤防の詳細な調査を実施し、調査の結果、緊急な対応が必要な区間においては、堤防補強を実施します。

●河川敷の利用については

- 「川でなければできない利用・川に活かされた利用」という観点から、本来河川敷以外で利用するものについては、縮小していくことを基本とします。
- しかしながら、既存の利用施設が数多くの人々に利用され、また住民や自治体等からはグラウンド等々のスポーツ施設に対する関心および新設の強い要望等があることから、地域ごとに調査を実施し、地域住民等から広く意見を聴き、個々の案件毎に判断します。
- 瀬田川では、水面利用に伴う施設のあり方について、地域住民および住民団体と調整を図ります。



大戸川ダム



●大戸川ダム計画は

- 琵琶湖の水位低下抑制のための大戸川ダムからの放流効果、自然環境に及ぼす影響、日谷ダムの利水容量の換算、土砂移動の連続性を確保する方策等について調査・検討を行います。

利水

- 今後の水需要を利水者に確認し、厳正に吟味します。
- 水環境維持・改善のための新たな水需要等を含め、水利権の再査定にあたっては、用途間転用等の水利の合理化に努めます。
- 既設水源地開発施設の再編と運用の見直しを行い、水資源の有効活用を図ります。
- 再利用や水利用を含めた具体的な方策により、水需要の抑制が図られるよう、利水者、自治体等関係機関、住民と連携します。
- 治水時の被害を最小限に抑える対策として、平常時の情報交換などによる取水調整の円滑化を含め様々な施策を検討します。

みなさまの琵琶湖や川に対する想い・考えは??

湖岸・川岸形状

現状の課題

- 堤防や高水敷、単純な形状の低水路等の整備
- 堰、落差工、ダム等の河川横断工物の建設



この部分の川岸形状が複雑になって、連続性が失われています。
この部分についても、同様の形状になっているので、管理費と関係、調整を行っています。

- 横断方向（水尻～高水敷、堤防～堤内地）の連続性が分断されているところがあります。
- 縦断方向（山～湖・川～海）には、ダム・堰等の河川横断工物により、不連続になっているところがあります。



野洲川落差工

野洲川河口部

具体的な整備内容

■横断方向の連続性の修復方法の検討

水陸移行帯（内湖・湿地帯を含む）の保全・再生を図るため、横断方向の連続性の修復方法について検討します。

■縦断方向の連続性の修復方法の検討

縦断方向の連続性の修復に向けて、現状の堰、落差工等において、生物の遡上・降下に対応した構造を検討します。



家棟川ピトオプ整備事業



○水がある状態

縦断方向の連続性の修復が必要な野洲川落差工

○水がない状態

水質に関するモニタリング
水質浄化（土壌による）効果のモニタリング実施

生物に関するモニタリング
魚類からの移動経路の検証と併進、種多様な生物を発生

継続実施するとともに、産卵調査などを追加実施

琵琶湖の保全のため、モニタリング結果を活用

家棟川ピトオプ整備事業のフローチャート

生態系

現状の課題

- 生物の生息・生育環境が改変され、固有種をはじめとする在来種の減少を招いています。

津田沼内湖の消失



昭和40年

平成7年

具体的な整備内容

■外来種対策の推進

外来種の駆除方法等について調査・検討を実施し、関係機関や住民及び市民団体等と連携しながら、外来種対策を推進します。



外来種（ブクラギス）

- 内湖・湿地帯や瀬・源の減少
- 水質や底質の悪化
- 急激な水位低下と低い水位の長期化
- 外来種の増加
- 魚類の移動経路の遮断
- 水陸移行帯の減少

水質

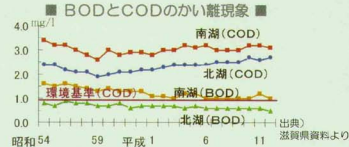
現状の課題

- 琵琶湖では、アオコや淡水赤潮が発生しています。
- 近年、琵琶湖では下水道整備等の効果によりBODが減少傾向にあるのに対し、CODは増加傾向を示しています。
- 琵琶湖北湖底層においては溶存酸素の減少傾向を示すデータが得られています。
- 水上オートバイやフレッシュポート等の利用が増えたことにより、ベンゼン、トルエン、キシレンおよびMTBE等の有害化学物質による新たな水質問題が発生しています。

- 市街地や農地からの濁水など汚濁負荷対策の遅れ
- 琵琶湖周辺の内湖・湿地帯の消失
- 水面利用の多様化



水上オートバイ



出典 滋賀県資料より

具体的な整備内容

■琵琶湖・淀川流域水質管理協議会（仮称）の設立の検討

流域全体として水循環と河川環境の状況を把握できる統合的な流域水質管理システムの構築を目指し、琵琶湖・淀川流域水質管理協議会（仮称）の設立について検討します。

<主な取り組み>

- ① 水質の流域内監視体制の強化
- ② 河川流入負荷削減の実施方策
- ③ 協議会活動への積極的な住民参加を促すための取組
- ④ 水質事故の防止・対応の取組の強化

あなたならどう考えますか！？

水量

現状の課題

- 瀬田川洗堰・天ヶ瀬ダム
- の放流操作
- 平常時の流水の欠如

- 下流の淀川では、増水のあとの急激な水位低下により、一時的に氾濫した陸域において魚類の死亡を招くこともあります。
- 琵琶湖に流入する野洲川等では、瀬切れの問題が頻発しています。



野洲川の瀬切れ



淀川・橋梁地先砂洲における魚類の逃げ遅れ現象

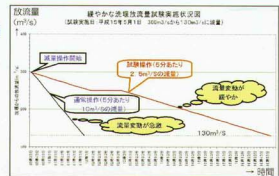
具体的な整備内容

■下流で急激な水位低下が生じないダム・堰の運用

瀬田川洗堰や天ヶ瀬ダムの下流で、逃げ遅れによる魚類の死亡を招かないよう、急激な水位低下が生じない運用操作を実施します。

■維持流量の検討及び諸調査の実施

河川環境上必要な水量を検討するとともに、確保可能な水量を把握するために必要な諸調査を実施します。



堤防が壊れることによる大きな被害をなくそう。

現状の課題

- 土でできている堤防は必ずしも防波構造物としての安全性が十分とはいえません。
- 破綻した場合に、甚大な被害が生じる可能性があります。



瀬田川左岸堤防

冠水際への入口

・畜産の集積

具体的な整備内容

■ 日頃から備える

- ① 情報提供
- ② 意識の啓発
- ③ 浸水実績表示
- ④ 浸水想定表示
- ⑤ 防災訓練
- ⑥ 土地利用の規制・誘導
- ⑦ 建築物耐水化
- ⑧ 地域防災計画



水防技術講習会
(防災訓練)



野洲川の浸水想定区域図
(浸水想定表示)

■ 洪水時の対応

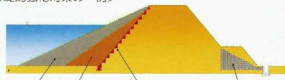
- ① 防災ステーション
- ② 情報伝達体制等の基盤整備
- ③ 災害対策用車両の搬入路等の整備
- ④ 非常用資器材の備蓄
- ⑤ マスメディア等への洪水情報提供
- ⑥ 防災機関との連携
- ⑦ 避難誘導等体制の整備



■ 堤防強化対策の実施

堤防の補強、実路後のモニタリング

<堤防強化対策の一例>



※ 現地に向けた具体的な補強手法については、「淀川堤防強化検討委員会」(H15.4設立)にて、早急に決定します。

■ 流域で水を貯める

- ① 保水機能の保全
- ② 貯留機能の強化
- ③ 都市計画との調整

人と川の共生をいかに考えるか。

現状の課題

- 人工的な施設整備や河川敷の利用が、河川の生態系を横断的・縦断的に分断し、本来の川の姿を失わせることとなっています。
- 水面利用のための構構や係留施設が、水辺の利用・景観を妨げています。



河川敷の利用状況

- 社会的な要請
- 水面利用の多様化 (マリンスポーツの普及)

具体的な整備内容

■ 河川保全利用委員会 (仮称) の設置

占用施設の新設および更新の許可にあたっては、地域毎に委員会を設置し、地域住民等の意見を広く聞き、個々の案件毎に判断します。

■ 瀬田川水辺利用者協議会 (仮称) の設置

既存の構構・係留施設の集約・共有化並びに水辺のあり方を検討します。

～川でやればできない利用
川に活かされた利用～

グラウンド等のスポーツ施設のように、本来河川敷以外に設ける施設を縮小していくことを基本とします。



～ 一步前進 琵琶湖や川の青写真 ～



住民の意見を反映させた河川整備計画を策定するため、琵琶湖や川について、あなたの想い・考えを聴かせて下さい。

一緒に考えましょう！

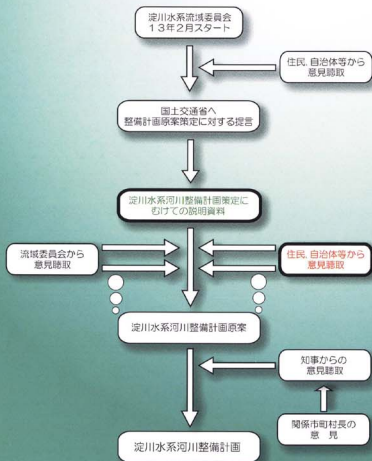
近畿地方整備局では、昨年12月に淀川水系の河川整備計画の策定においての説明資料として、「淀川水系河川整備計画策定に向けての説明資料（第1稿）」を作成しました。その後、この第1稿をもとに、流域委員会や自治体、住民の皆様と意見交換をさせて頂き、様々なご意見を頂きました。そしてこの度、こうして頂いた意見を踏まえ第1稿を見直し、第2稿を作成しました。

この第2稿を、広く住民の皆様にも理解して頂き、河川整備計画策定に向けて、ご質問やご意見を頂きたいと考えています。なお、平成15年6月20日に開催された流域委員会でも、既に、この第2稿は説明をさせて頂いております。

今後は、住民の皆様から頂いたご意見等を踏まえ、河川整備計画の原案作成に向けて、第2稿を更にバージョンアップさせる予定です。

「淀川水系河川整備計画」の策定にむけて、今後も住民の皆様のご意見を頂きたいと考えていますのでみなさま方のご協力をお願いします。

河川整備計画策定の進め方



■ご意見、お寄せください■

- 氏名 ●住所 ●連絡先 (TEL)
- Eメール ●職業 ●年齢 ●性別

をご記入の上、下記のいずれかの方法でご意見をお寄せ下さい。

★ はがきで：

〒520-2279
滋賀県大津市鳳津4-5-1
琵琶湖河川事務所 調査課内「ご意見」係

★ Eメールで：
kasenseibi@biwako.ws

★ ホームページで：
<http://www.biwako.ws/seibi/>

★ FAXで：
(077) 546-6672

■もっと詳しい資料が必要な方は、ご連絡ください■

お問い合わせ先・・・
国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所 調査課まで
TEL：(077) 546-0844 (代表)
URL：<http://www.biwako.ws/>